

北海道生活困窮者支援情報交換シンポジウム

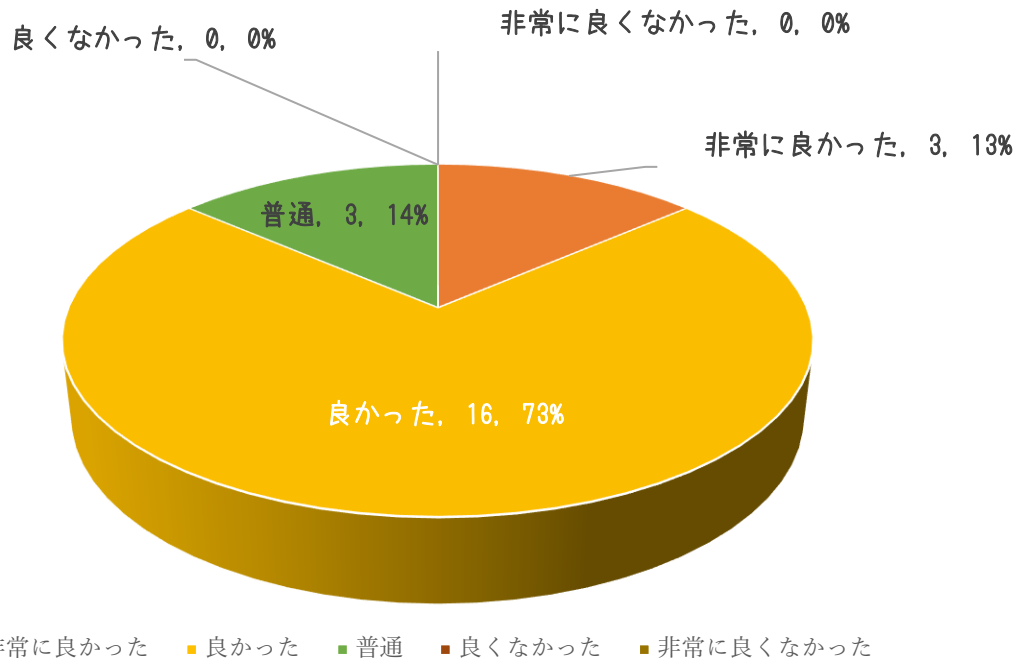
(兼第3回情報交換会)

参加者アンケートまとめ

● アンケート回答数：22

1 第1部 講演 生活困窮者支援法制度のあり方～コロナ禍の先に～

第1部 講演 生活困窮者支援法制度のあり方 ～コロナ禍の先に～



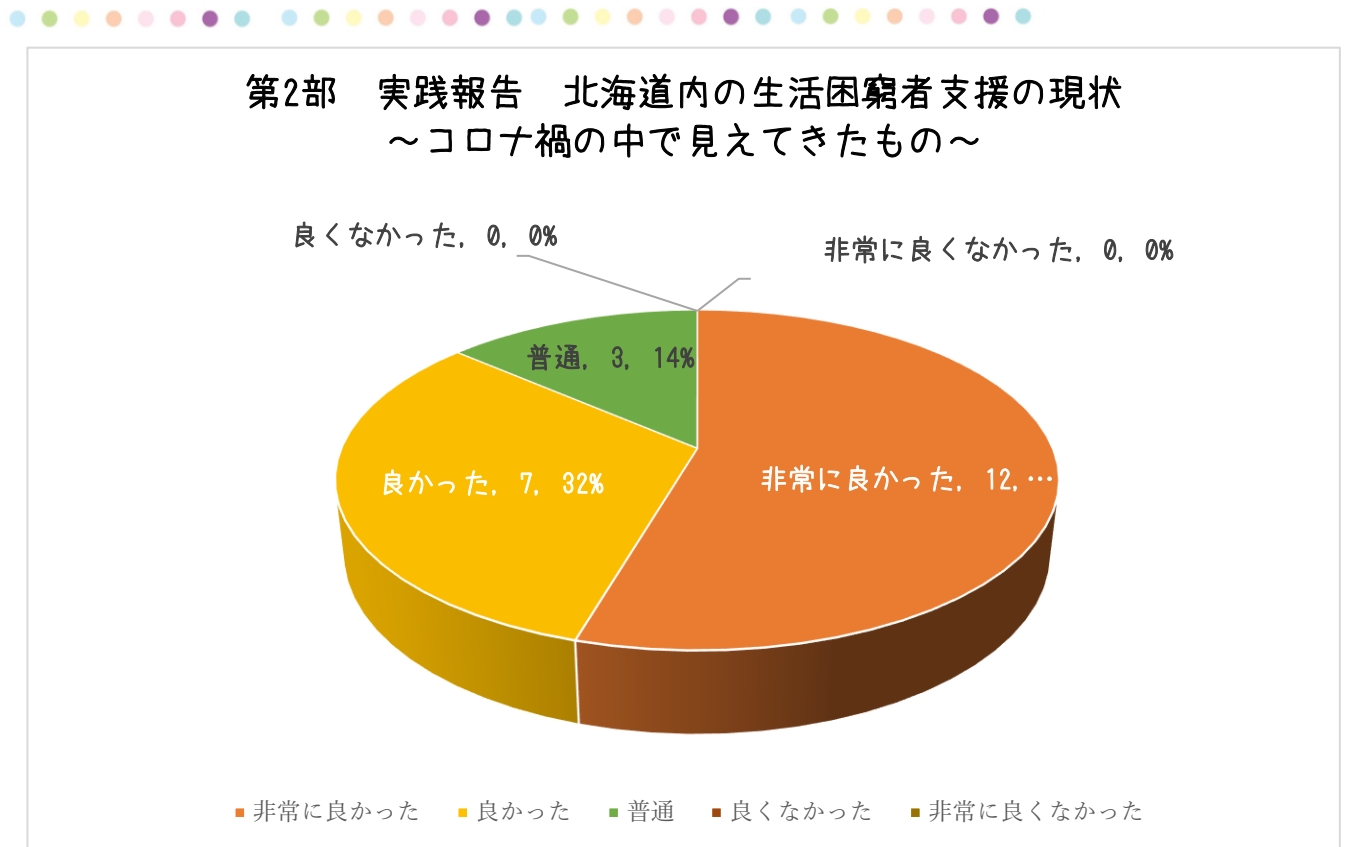
第1部についての感想やご意見などあればご記入ください

- 生活困窮者の実態とコロナの影響の実態を改めて認識することができました。
- コロナ禍における相談の変化や、貸付金の状況、今後の国の取り組みの方向性について、わかりやすく説明されていました。
- 厚労省の現状などを聴くことができ、気持ち的に安心しました。
- 常にはいえませんが今後もこのような場があると非常にありがたいです。
- 既に把握している制度の内容だったり、現在運営している活動の内容が大半を占めていたため、今後の方向性や制度や支援等の期限後の活動や行動についての提案などがあるとよかった。そういった部分の話を国はどこまで進めているのかという点も具体的に聞きたかった。
- コロナ禍において、換気・消毒など気を使う場面が多々ありながらの面談になることがほとんどで、気を抜けない状態が続いた。(地元でコロナのクラスターがあったため)
- 生活困窮者自立支援事業において、新型コロナウイルスの影響による相談者の現状、それに対する支援の内容を再度把握することができた。また自立相談支援制度の再確認と地域との連携の重要性について学ぶことができた。
- 全国の各センターも大変な状況だったことがよく分かりました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響によって相談者の傾向などが変化していることがわかり参考になった。国の施策については選挙の動向にもよるので回答しづらい部分があると思うが、昨年のような個人ベースでの支援拡充があるかどうかと

いった部分が気になった。

- 制度について再確認する機会となった
- 様々なデータを提供していただき、全国の取り組み等の情報もいただきました。ありとあらゆることに取組んでいても、漏れ落ちてしまう現実を埋める難しさを感じました。
- データーに基づきコロナ前後の変化の「見えるか」が分かりやすかった。(データーがシンプルだったのが見やすかった)
- 都道府県の役割の整理について。
 - ・人材養成研修は、いくつか受講しているが、数年たつと自分の中での課題が変わったり理解が深まったりすることを考えると、一度受けたから終わりではなく、必要に応じて再度フォローアップ参加者として受講できたらよい。
 - ・支援員向けのスーパーバイズは必要と感じている。支援者同士の繋がりでフォローしていることもあるが、道としても困難事例をここに相談して良いなど、窓口があれば助かる。
 - ・広域で活動していると、各町村の温度差は常々感じる。はざまの支援、社会的孤立への対応となると必ず町の協力が必要。解決できるかどうかはともかく、共に考えるという姿勢が欲しい。
 - ・安心サポート事業をもっと広めて欲しい。社協で担ってもらえて連携してもらえると、支援に注力できるので大変助かる。オホーツクではほとんどやっていない。事業費で出せない灯油代やガソリン代に関して、法人内の寄付などで工面しているが十分ではなく、公的な仕組みとして必要。”

2 第2部 実践報告 北海道内の生活困窮者支援の現状 ～コロナ禍の中で見えてきたもの～

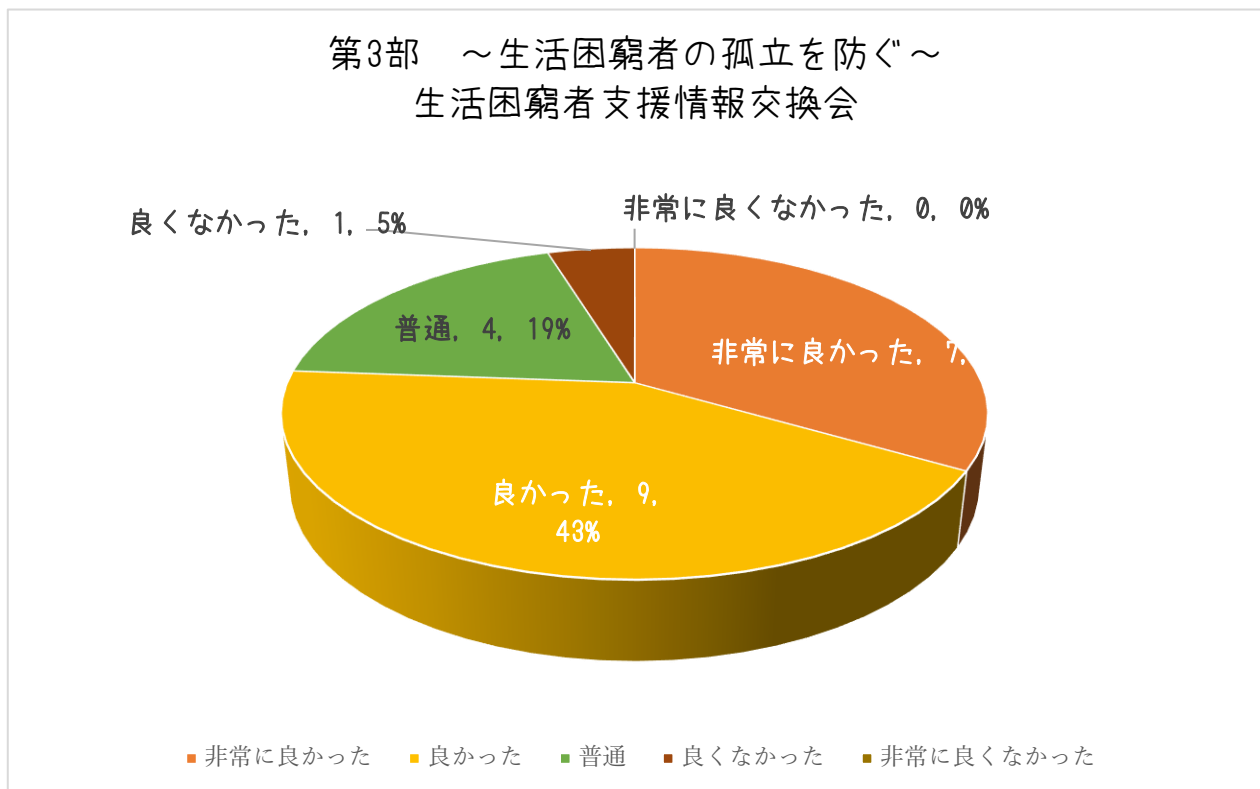


第2部についての感想やご意見などあればご記入ください

- 事業所の内容を知ることができました。とても参考になりました。
- 各団体の取り組みや、抱えている課題などがわかりやすく説明されていました。
- 石狩社協さんが抱えている貸付金の課題は、当センターにも言えることで参考となりました。”
- 各機関での支援の傾向や取組の実例などを聞くことができて参考になった
- 貸付、フードバンク、外国人など相談者の特性、福祉事務所のない自治体と多様な目線でお話を聴くことができて良かったです。他機関連携の重要性を再確認しました。
- 全体的に一つの機関の活動報告の時間が短く、内容が薄く感じた。もう少し一つの機関の報告の時間を長くし、より具体的な支援についての話を伺いたかった。
- 郡部では、都市部に比べて特例貸付の件数はそれほど多いと感じなかった。

- 鷹栖町の発表が具体的で、役場内での連携が大変わかりやすく、うらやましく感じました。
- 社会福祉協議会での貸付の対応状況と生活困窮者自立支援事業への繋ぎと行政からの視点での生活困窮者自立支援事業への働きかけについて、非常に参考になった。
- お話しいただいた方ご本人や選択は非常に良かったと感じています。
- 特に鷹栖町の積極的な取組みが素晴らしかったです。
- 各登壇者の持ち時間が少なかった印象。もう少し詳細を聞きたいところでもあるが、全体の時間を考えると仕方ないとも感じた。
- 各地の取組みはとても勉強になりました。具体的にお話して下さりとてもありがたいと思いました。
- 鷹栖町役場内のネットワーク(庁内連携)のすごさを感じる反面、町内での“困った”を解決する時の基本的な形なのでは…と思いました。後志特有の外国人の問題も北海道といっても様々であり、その土地のことは土地の方に訊くことが大切であると痛感いたしました。ご発表いただいた所すべて、どうしよう？という“？”を大切に取組まれていると感じました。”
- 他地域、他事業・団体の方がこういった活動してきていたのかを知ることが出来ました。今後の自分たちの行う支援の中で活用できそうなことを考えていきたいと思います。
- 他の事業者さんの工夫や苦勞されている話を聞けて参考にもなり励みにもなった。
- 税務課は生活困窮者を把握している現状があるとして、そことつながる支援会議など情報を互いに開示できるネットワークの構築、仕組みづくりが個人的によくわからない。関係機関がつながる仕組みづくりを行いたいと思った場合、誰に相談すればいいのか判らない。そもそも、対象の町がたくさんあるので同じ手法で展開できるとも限らない。日々の相談業務や雑務に追われる中、判らないことがたくさんありすぎてどこから手を付けていいのか判らない。研修で学んだことを現場にどう生かせばいいのかについては悩ましい。

3 第3部 ～生活困窮者支援の孤立を防ぐ～生活困窮者支援情報交換会



第3部についての感想やご意見などあればご記入ください

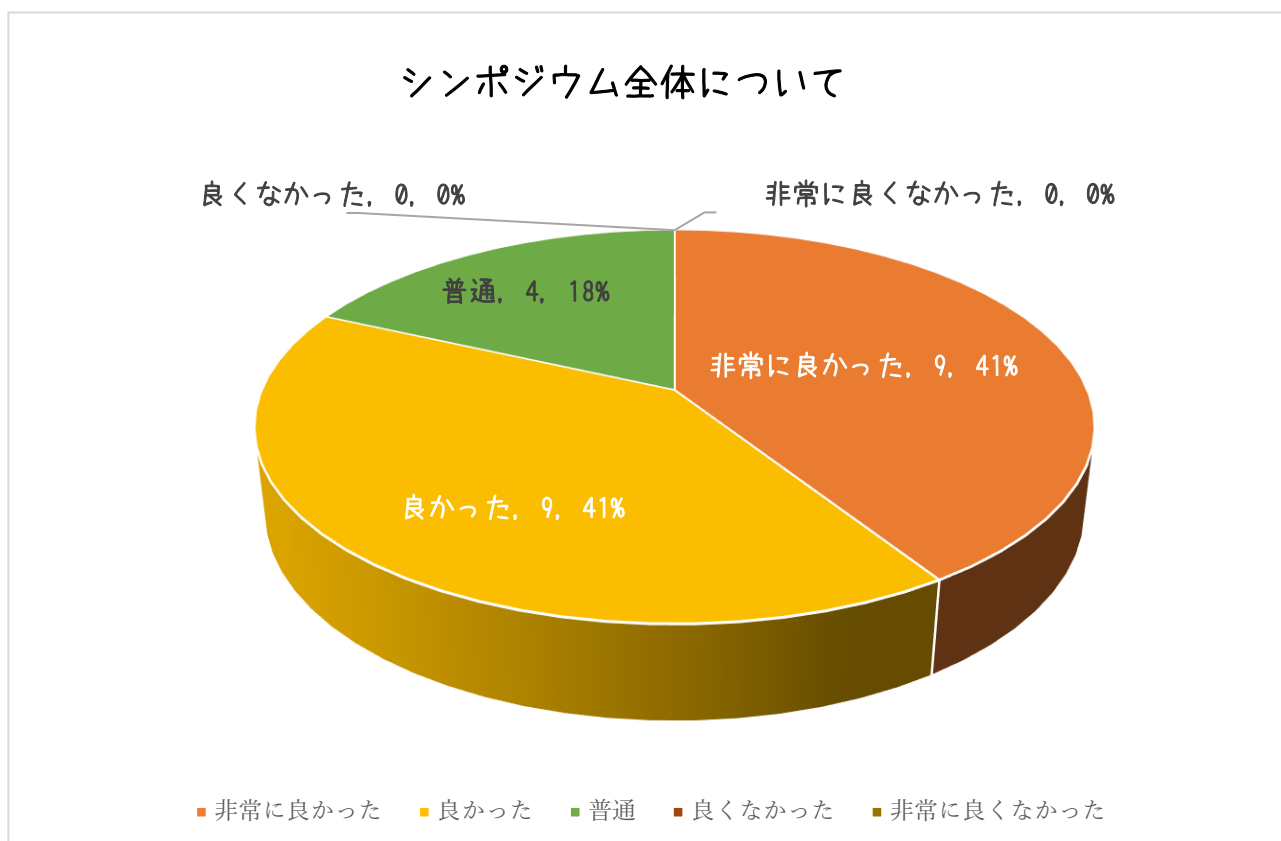
- 他事業所と関わることがほぼなかったため、各支援員とお会いできたことをうれしく思います。
- フリートークで情報交換できるところがよかった。
- GWについてはこのような時間を持つ機会が減少していることから話題が尽きず時間が少々足りませんでした。非常に有意義な時間になりました。
- 意見交換は自治体の動向を知ることができるのでよい機会とは思いますが、いつも情報交換が主流となっているため、一つの

テーマを設けて議論するようなことがあるとよい。

- それぞれの市町村でのネットワーク活用も様々だと思います。どんなときにも連携しながらの支援が必要になると思います。
- 小規模都市の抱える課題、成果を知ることができ、刺激されました。
- 限られた時間だったため、テーマの絞り込みを行いそれに沿ってディスカッションを行いたかった。
- 時間が足りなかったです。慣れない役目に緊張してお役目がしっかり果たせず申し訳なく思っています。
- グループの時間を増やすかテーマを一つに絞るなどして話し合いの時間を伸ばす
- いくつかの所から出ておりましたが、“会って話を聴く”ことが基本となり、そこから前にどう進めていけるかのアイデアを考えていくことが重要であること。特に一人で奮闘されている枝幸の田中さんのエネルギーな行動に頭が下がる思いと、企業さんとのつながりの太さを見習いたいと思いました。中間支援であれば道社協と一緒に！と思ってもらえるように日々研さんして参ります。”
- 司会進行を務めてくださる方がいたため、円滑に意見交換ができ、とても良かったです。
- グループが4か所だったので聞きたい内容など情報的には少ないと感じた。
- コロナ禍の件数の増加は各町で大きな差があると感じた。うちは2倍程度であるが、北見社協は10倍にも膨れ上がり業務に追われたという。想像を絶する業務の中で、どう効率化してきたのかももう少し詳しく聞きたい（聞くと思えてくれそうに思うが、多忙と思うと気楽に電話がしにくい）
- ・ ラインボットに訳アリの人が契約できる住まいの情報が欲しい。それは定期的に情報更新して欲しい。受入れ度合いをレベル分けしてくれると助かる。道内全域の情報を知り、場合によっては専門性のある場所につなげたい。保証人・緊急連絡先なし、保証協会利用不可。集団生活困難、刑余者（前科多い。再犯し留置されることに抵抗がないタイプ）、他害はないが壁など破壊する（近隣の医療機関は出禁）などなど。
- ・ 国が自立相談支援事業を広報してほしい。当事者が煮詰まってから相談するのではなく、予防で動けた方がよい。そのためのアウトリーチ支援と思うが、国が広報することで各町村の意識が変わると思う。
- ・ 車中泊者用のガソリン代、隣町に行けるくらいの交通費、灯油代、フードバンクから食料が届くまでのタイムラグをカバーする本人への給付金が欲しい。決済手間取らないように2-3万/年でいい。

”

3 シンポジウム全体について



4 次回情報交換会テーマについての希望やご意見をお聞かせください。(最終回)

例)「各任意事業毎で情報共有したい。」「中間支援という表現がわかりにくかった」など

- 前回以前は不参加だったためテーマに取り上げられているかもしれませんが、当方は振興局委託の広域支援のため、対象者が分かりにくいことがあります。同じ振興局委託同士、どのような支援方法なのか話を聞いてみたいです。各市でも北海道は土地が広く把握しきれない場合の対象者の発掘など、方法が知りたいです。
- 「中間支援」については具体的なイメージがわいていません。今後もう少し詳しく説明いただければと思います。
- アフターコロナでの支援についてどのように取り組んでいくか（コロナ対策として設定された各種支援の期間が終了し、貸付等を利用し終わってもなお状況が改善せず支援を必要とする相談者に対してどう支援していくか）
- 特例貸付の返済が来年以降始まると思いますが総合支援資金特例貸付については返済前に自立相談支援機関からの支援を受けることに同意されていると思います。
国または道から自立相談支援機関に期待することについてお話が聴けるとありがたいです。また、他の自立相談支援機関では借受者とのように関わっていこうと思っているか情報があるとありがたいです。”
- 中間支援と言う表現が分かりにくいというより、自分達にとってどんな仕組みがあれば中間支援になるのかがイメージ出来ない結果、必要ないと感じているかも。求められる中間支援を考えるより、困りごとを中間支援でフォローしあえる工夫大事
- 就労準備支援と中間支援の決定的な違いは何でしょう？社会資源の乏しい所には、あまり多くを望めない気がします。タブレット使用を求められてもひきこもりの人がそんなに簡単に心を開くとも思えない。年単位での人間関係構築が必要になると思います。親の年金で生活しているひきこもりの子供のいる家庭の親を説得するにはどうしたらいいですか？親もひきこもりの子供の存在を隠す。民生委員でも入り込めない家庭の闇・・・・・・・・。
- 家計改善支援事業、就労準備支援事業、一時生活支援事業、就労体験事業、労務管理などで大枠を決めて、希望するテーマに各自立支援機関が参加する情報交換会として開催。
- 難しいのかもしれませんが、課題に感じていることなどで分類できたら、いいかもしれません。
- テーマを絞るのもいいですし、普段の業務の「困窮あるある」を共有するのも面白いのではと感じました。
- 各事業所での具体的なやり方（自治体とのやり取りや事務処理）を聞いてみたい。
- いくら制度があっても、支援策があっても届かない方がいることに対し、何をもって日々活動することが埋めることにつながるか？
- 他の事業での取り組みを知ることも大切だと感じていますが、同じ事業に取り組んでいる団体どうしであつたら、より近い感覚をもって情報交換できるのではないかと思います。
- 関心があるテーマごとにグループ分けしていただくと、より深められると感じました。
- 中間支援がまだよく理解できていない。
- 今回のヒアリングシートから出てきたそれぞれの意見に返事ができるように、掲示板の機能が欲しい。スレッドを立ててツリーをぶら下げるような。空き時間に、アイデアだけ書き込むなどもできると、気楽に交流も深まり意見交換が活発化するのではないかと。
- ・各任意事業ごとで情報共有はしたい。特に、一時生活支援、学習支援。”

5 シンポジウム全体に対する感想やご意見をお聞かせください

- このような情報交換の場は本当に必要だと思っています。他事業所の支援方法はとても参考になります。
オンラインでは名刺交換等出来ないため、シンポジウム後にそれぞれが連絡を取れるような仕組みがあると良いのではないかと思います。”
- 参加機関も増え、案内やとりまとめ、当日の運営等ご苦労されていることと思われそうですが、このような状況下で各機関が情報を共有することは大変重要なことであると考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。
- 今回のシンポジウムはとても参考になりました。今後の業務の参考にさせていただきます。
・可能であれば次年度以降も継続していただきたいと思います。”
- オンラインのみでの開催ではなく、オンラインも可能で会場での参加の研修を再開してもらいたい。やはり名刺を交換したり、顔が見えて直接話をしてという機会を設けてつながりを作るほうが良いと思う。

- とにかく長かった
- 実践報告について参考になる内容が多くあったため、今後も継続して様々な機関の発表を調整いただきたい。
- 皆さんがそれぞれ率直にやり取りできる良さを感じています。
- 大きな事業の取りまとめありがとうございます。厚労省の方を交えて、道内の困窮者支援団体が意見交換を行うという貴重な機会の提供をありがとうございました。今後自治体の担当者も参加してもらえるような仕組みがあればよりいいなと思います。
- 来年あたりにはどこかの会場で集まって（シンポジウムなどを）やってみたいです
- 資料のダウンロードを失念してしまいました。もう一度チャンスを頂きたいをお願いします。
- 今回も盛りだくさんの内容をありがとうございました。
- 普段はあまり聞くことのない内容も含まれており、とても有意義でした。お疲れさまでした。
- これからもよろしくお願いします。
- 第3部についての感想やご意見は、ファシリのディスカッション回答の時に付けていたものです。改めて記載させていただきました。
- ☆先日、田島さんがワークフェアに足を運んでいただき改めてご挨拶させていただきました。ゆっくりお話しできず残念でした。
柳谷から、居住支援に関して「100件か10件かの違いはあれど支援の困難さはあまり変わりがない」と言われたと聞きました。右も左もわからないまま支援していた現状ではありますが、「刑余者に関しても寄り添う姿勢での対応が大切」と佐渡さんからアドバイスをいただきまして、心がすさんでいたものですからとても染み入りました。今後ともよろしく願いいたします。
- ☆運営にあたり、様々なご苦勞があると思います。お疲れさまです&そしてありがとうございました。”。